

こどもたちが未来のまちづくりに。

# 『めやすばこ』

こどもたちと自治体が意見を交わし合う、参加型双方向アプリ

早稲田大学 倉橋輝

## 社会的背景

### こどもまんなか社会

全てのこども・若者が、日本国憲法、こども基本法及びこどもの権利条約の精神にのっとり生涯にわたる人格形成の基礎を築き、自立した個人としてひとしく健やかに成長することができ、心身の状況、置かれている環境等にかかわらず、ひとしくその権利の擁護が図られ、身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態(ウェルビーイング)で生活を送ることができる社会  
(こども大綱, 令和5年 12月 22日閣議決定)



### こども・若者の声

「意見表明権について聞いたことがない」

「個人の力では政府の決定に影響を与えられない」

「積極的に政策決定に参加したいとは思わない」



- こども・若者の政治への関心の低さ
- 精神的な自己肯定感の低さ
- 世界と比較した際のこども・若者の意識の低さ

(こども家庭庁「我が国と諸外国のこどもと若者の意識に関する調査」)

## 自身の経験

2022年より、学生団体での小学生を対象としたSDGs及びWell-being教育活動を通して、全国各地のこどもたちと交流してきた。

その際、こどもたち自身が自分たちが暮らす地域の良い点や改善すべき点について考えを持っていることを知った。

しかし、それらを大人や社会に発信・共有する機会は多くない。

## 既存の実施例

いくつかの自治体では、こどもの意見を政策に反映するための意見箱をオンラインまたは書類で集計している。

しかし、こどもたちの意見に対して一方的にコメントを返し、実際にどのようにして政策に反映されるのか不透明な例が多数。

加えて、一つの意見ごとにコメントを返すため、どれだけの市民・こどもたちが共感している意見なのかわからない。



そこで、①スマホで気軽に意見を出し、他の人の意見にリアクションをすることで、意見の共感性・重大性が可視化される  
②自治体からの意見にもリアクション可能な参加型双方向アプリ『めやすばこ』を提案する。

# 『めやすばこ』の概要

## 1 まずはアカウント登録



- ・ニックネーム, メールアドレス
- ・性別(男性 or 女性 or 未回答)
- ・学年(小学5, 6年生 or 中学生 or 高校生)
- ・住んでる地域(都道府県+市区町村)

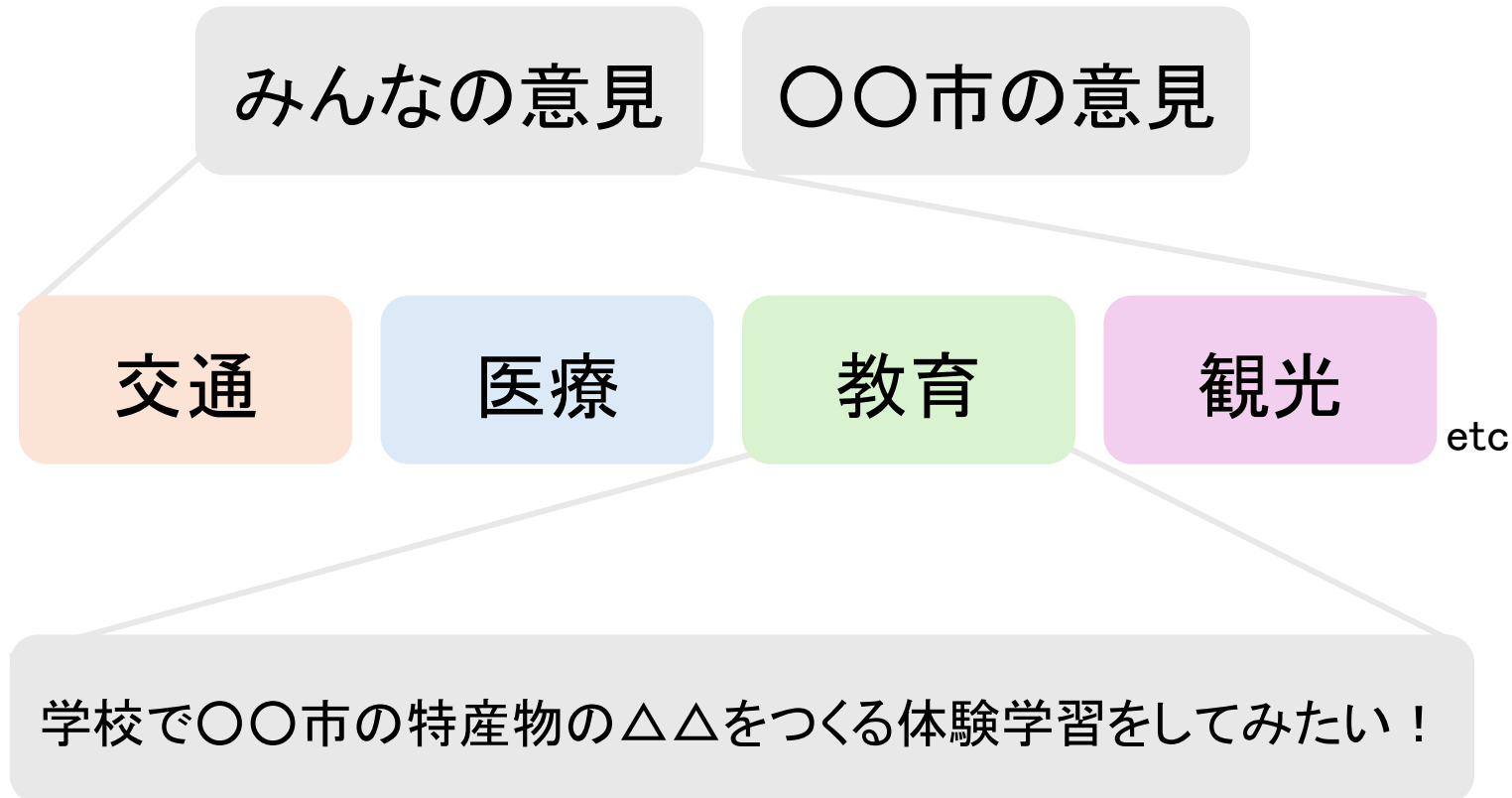
## 2 意見を出す or 見る

- ▶ 登録した情報をもとに, 地域別に  
こどもたち⇄自治体のやり取りが可能.
- ▶ 分野別に意見を分類..

## 3 共感ボタンで意見に賛同

- ・他の人の意見に共感ボタン!
- ..▶▶▶ 自治体に重要な課題が可視化される..
- ・自治体の提案にこどもたちが共感ボタン!
- ▶▶▶ 世代間の価値観の違いを把握することが可能.
- ・必ずしもコメントする必要がないため,  
多くの人気が気軽に意思表示をすることが可能!

### 〇〇市のめやすばこ



共感

3,500

採用

実際に農家の減少が問題になっているため、みなさんにより関心をもってもらいたいです!

スマホを活用するからこそ、より多くのこどもたちが気軽に政策に参画できる！  
こどもたち自身が未来のまちづくりに貢献する“こどもまんなか社会”の実現へ